

経済・金融 フラッシュ

ユーロ圏失業率(2022年6月) -3か月連続の6.6%

経済研究部 准主任研究員 高山 武士

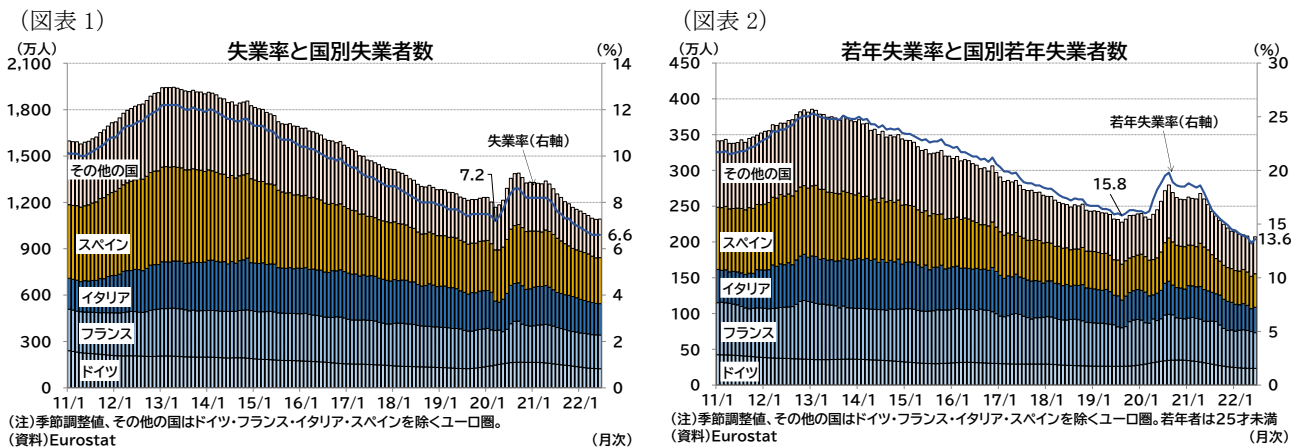
TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

1. 結果の概要: 6.6%で横ばい推移

8月1日、欧州委員会統計局（Eurostat）はユーロ圏の失業率を公表し、結果は以下の通りとなった。

【ユーロ圏 19 か国失業率（2022年6月、季節調整値）】

- ・失業率は6.6%、市場予想¹（6.6%）と同じで、前月（6.6%）から横ばいだった（図表1）
- ・失業者は1092.5万人となり、前月（1090.0万人）から2.5万人増加した



2. 結果の詳細: 若年失業率は再び上昇

ユーロ圏の22年6月の失業率は6.6%で、前月（6.6%）から横ばいだった（図表3）。5月以前の改定値の改定幅は大きくなかったが、4月（改定前:6.7%→改定後:6.6%）および3月（同6.8%→6.7%）の失業率が改定値でわずかに低下しており、今回の公表値では4月以降、3か月連続で6.6%だったことになる。

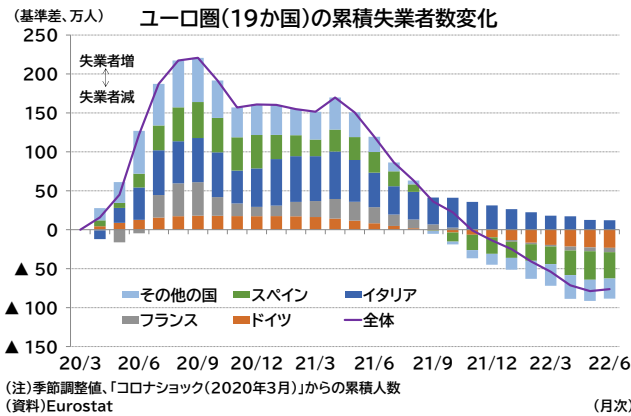
失業者数は6月の前月差で2.5万人増（5月改定値:▲7.4万人）となり、21年4月以来となる前月比での増加だった（図表3・4）。主要国ではスペインが2.8万人増、ドイツ（▲0.5万人）、フランス（▲0.7万人）、イタリア（▲0.4万人）は減少したが、いずれも減少数は小幅だった。

6月の若年失業率は13.6%で5月（改定前:13.1%→改定後:13.2%）から再び増加した（図表2）。また、4月以前の改定値もわずかだが悪化方向に改定されている（4月:13.8→13.8%、3月

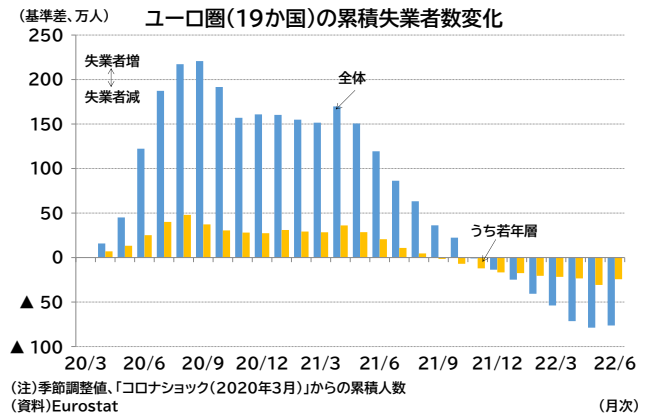
¹ bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

13.8→13.9%、2月 14.0→14.1%など)。若年失業者数も6月で207.3万人（前月差+6.4万人）となり、前月から増加している（図表4）。

（図表3）

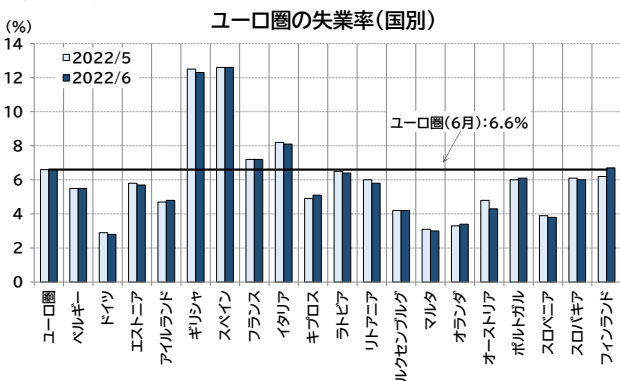


（図表4）

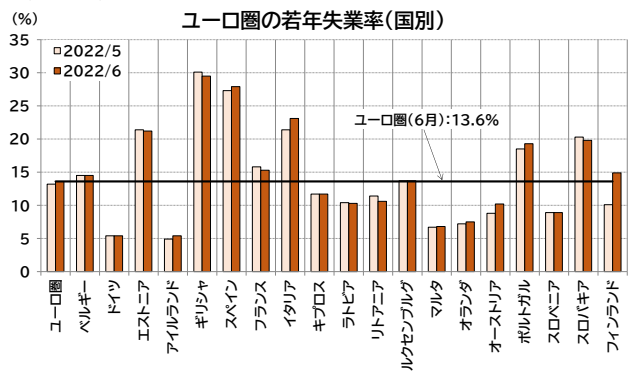


国別の5月のデータを見ると、失業率ではデータが公表されている19か国中、悪化した国が5か国、改善が10か国、横ばいが4か国だった（図表5）。また、若年失業率ではデータが公表されている19か国中、悪化した国が8か国、改善した国が6か国、横ばいが5か国だった（図表6）。

（図表5）

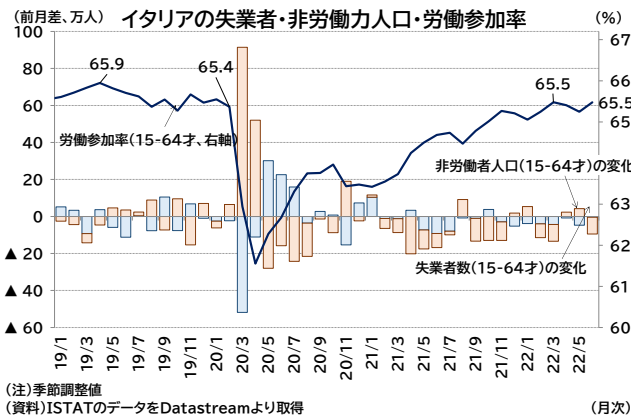


（図表6）

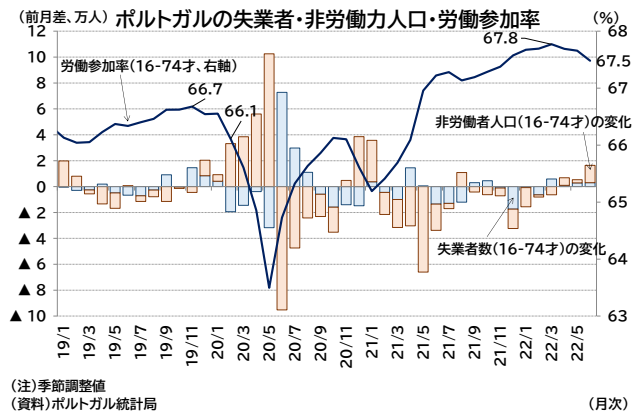


最後に詳細な月次データを公表しているイタリアとポルトガルについて確認すると、イタリアは失業者が微減、非労働力人口が減少し、就業者数は増加した（図表7）。一方、ポルトガルでは失業者も非労働力人口も増加し、就業者数が減少し、労働参加率は67.5%まで低下した（図表8）。ポルトガルはコロナ禍後の雇用環境回復が順調に進み、コロナ禍前と比較しても雇用環境が良好な状況にあるが、最近では雇用者数が4か月連続で減少するなど、改善に足踏みが見られる。

（図表7）



（図表8）



（お願い）本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保證するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。